

拾った白ギャルに夜這いされた話

◆Aパート

A-001 「さっむ……」

A-002 「……えっ？なんだよ、こっち見んなっ」

A-003 「っ！どうでもいいだろ、ほっとけよオッサン」

A-004 「……見て分からねえか？ここで寝るんだよ。シッシ」

A-005 「あん？家？馬鹿か。帰る気がないからこうしてるんだろうが。金ももうないし」

A-006 「……しつこいな。ははーん、わかった。さてはおじさん、ワタシを、買いたいの？」

A-007 「『買うって……？』ははっ。そりゃもちろん…エンコーだよ。パ・パ・活。知ってるだろ？」

A-008 「その気がないなら散った散った。まあ今はそんな気分じゃないからどーせ無理だけど……」

A-009 「えっ……雪……？ウソッ。うわ、マジ？今夜雪降るの！？……うへへ」

A-010 「『今夜だけでも家に？』……本気で言ってるの？どうせスケベな事考えてるんだろう？」

A-011 「タダで持ち帰ろうって魂胆みえみえだぞっ。って……ちよ、マジな顔すんなって」

A-012 「……本当に？『家に自分だけだから』って……女に下心なしという言葉じゃないだろ……」

A-013 「ちよ、ちょっと！『来ないなら代わりにお金』ってアンタ本気か！？」

A-014 「ちょっとオッサン。いいか？道端で野宿しようとしてる女だからって施しすぎだろうが」

A-015 「美人局（つつもたせ）だっけ……そういうのだったらどーすんだよ！」

A-016 「確かに困ったことにはなったけどさ……んーと」

A-017 「本気で？ウリとか関係なく？ワタシが後で金のためにメンドクサイ事、言うかもしれないぞ」

A-018 「構わないって……ハァ……このオッサン、いい人間過ぎて逆にうさん臭いぞ……」

A-019 「なに笑ってるんだよ！『いい子』？馬鹿にしてんのかっ」

A-020 「家。行ってもいいのか？」

A-021 「……ありがとう。正直……助かる」

A-022 「よいしょっと。それじゃ、連れて行って」

A-023 「えっと。それっ。ぎゅっ」

A-024 「腕に抱きついただけじゃん！慌てないでよ、パ・パ♪」

A-025 「……固まるなよ。冗談だって」

A-026 「まあ、それはそれとして冷えてきたから。少しでも腕貸して」

A-027 「つ・い・で・に、おっぱいの感触、楽しんでもいいよ？」

A-028 「胸、結構大きいっしょ？『胸元開けてるから寒い』って正論ぶつけんなよ、シラケるなあ……」

A-029 「オッサンが童貞臭いのは分かったから、早く連れて行って。もう変なことしないから」

A-030 「……えっと、着替えとか下着も何もない……」

A-031 「えっ？コンビニで買ってくれるの？マジで？……いや、でもなあ」

A-032 「うはんも！？本当にいいの！？神じゃん！」

A-033 「いや、ダメダメ。そこまでされちゃなんか、こう、ムズムズするから」

A-034 「『猫を拾ったらご飯あげるもの』って。おい、オッサン、もしかしてそういう目で見てたのか!？」

A-035 「まったく……言いやがるなあ。まあいいや。じゃあごはんもお願い。代わりにおとなしくしておくから。ニャーン♪」

A-036 「……引くなよ。もうちょっとノリ合わせてくれよ。オッサンさ、年下にモテないだろ？」

A-037 「……言うな言うな。今ので分かったから。だいじょーぶ、世界には男の数だけ女がいるんだから、いつか出会って、な？」

A-038 「元気出せって。ほら、コンビニ。連れて行ってくれよ。この辺来るの初めてで場所わかんないんだ」

A-039 「携帯の電池も切れちゃってるし、ナビアプリも何もないんだよ」

A-040 「……分かってるって、コンビニに入る前にちゃんと離れるから」

A-041 「ほらほら。行こう！ワタシ結構食べるけどいいかな！」

A-042 「『お腹壊さない程度に』って本当に子供とかそういう扱いなんだな、オッサンは。……ハァ」

A-043 「いや、ウリはナシって言ったのはワタシだし。そういうスケベな事絡めたワタシが馬鹿だった」

A-044 「今どきのオッサンらしく無いね、アンタ。草食系ってやつ？」

A-045 「わかったわかった。情けない顔するなって！この話はおしまい！それじゃ行こう！」

◆Bパート

B-001 「ごちそーさん♪いやあ、久々にいっぱい食べたあ！オッサンありがとな！」

B-002 「そうだよ。昨日までは1日オニギリ1個とかパン1個だけだったよ」

B-003 「だからいますげー久々に満腹で気分いいよ！」

B-004 「それに歯ブラシとか下着とか、ホント、ありがとう」

B-005 「女学生を家に連れ込もうとするオッサンだからどんな家に住んでるかと思えば、結構立派な一軒家だし」

B-006 「こんな家に一人って、オッサン金持ちなんだな」

B-006 「……なんだよその顔」

B-007 「えっ！？家が完成してすぐに嫁に逃げられた！？……うわっ、えっ、マジ？」

B-008 「その……ゴメン」

B-009 「ほら！酒、飲みな！さっきコンビニで買ったでしょ！ほらほら！ワタシは気にしないでいいから飲みなって！」

B-010 「そっかそっかあ……あっ！じゃあ掃除とか洗濯してやろうか？こう見えて家事は得意なんだよ！」

B-011 「……気にしないでいいって？本当にボランティアじゃん……」

B-012 「んんん！わかった！貸しにしろって！この恩は……いつか必ず返すから」

B-013 「あっ……本当に雪、降ってきた」

B-014 「……………ふう」

B-015 「ちょっとだけ……さ。愚痴、言っている？」

B-016 「そう。家の事。母親と喧嘩したんだ」

B-017 「ワタシこんなのだけどさ、母親も……結構遊んで……」

B-018 「男を毎晩家に連れ込んでるんだ……そう。毎晩。しかも違う男」

B-019 「結構お金も使ってるみたいで、お小遣いとかもなくて……結果、ウリとかやつちゃってるんだけど」

B-020 「母親が連れ込んだ男の中に、アタシを抱かせろってやつがいるみたいで……」

B-021 「そうだよ。堂々とチンコだして部屋に入ろうとしたり、家にワタシしかないときに押し掛けてきたり」

B-022 「おかしいだろ！？……でもその男、お気に入りらしくてさ……」

B-023 「そう。見て見ぬふり。それで、もう、我慢できなくてさ……」

B-024 「相談所？ムリムリ。取り合ってくれないよ。アタシもこんなのだし、お前が誘惑してるゝとか変な説教かまされてオシマイ」

B-025 「だから家出した。学校のカバンに財布とスマホだけ持って」

B-026 「はじめはさ、ウリでお金稼いでそれでネカフェ泊まればいいやって思ったけど」

B-027 「なんかもう……色々面倒くさくなっちゃって……」

B-028 「うわっ、ちょ、ちょっと！いきなり頭なでるなって！何すんだよオッサン！」

B-029 「そんなことされても嬉しくないっての！」

B-030 「『頑張ったね』って……なにも頑張ってないよ。ただ逃げただけだし」

B-031 「……家っていざ出てみるとやっぱり、こう、心が休まってたのかなーなんて」

B-032 「ホームシックってやつ？……絶対帰りたくないのに、何処にいても落ち着かないんだ……」

B-033 「……アタマ」

B-034 「ア・タ・マ。もう一回撫でて」

B-035 「……んっ。さんきゅ」

B-036 「父親の記憶はないんだけどさ、気づいたら居なかったし。居たらこうやってくれたのかなーって」

B-037 「『そんな歳じゃない』って？ハハッ！そこで見栄を張るなよ！たしかにワタシの父親にしては若いけど」

B-038 「おじさま……っていうほど渋くもないし……やっぱオッサンで」

B-039 「『せめてオジサン』って同じじゃん……まっそう呼んでやるよ、オ・ジ・サ・ン♪」

B-040 「ほら、もっと頭、なでやがれー！持ち帰ったペットの面倒ちゃんと見ろー」

B-041 「こらっ、急に日和るな！おらっ、腕貸せ！もっと撫でろ！」

B-042 「あはっ♪ははははっ♪ほらほら〜♪」

◆Cパート

C-001 「んっ……ちゅっ♡れろっ……んふふ♡」

C-002 「じゅるっ……んゝ、れろれろろ」

C-003 「ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡」

C-004 「ちゅるっ……ちゅっ、ちゅっ、ちゅーっ♡」

C-005 「あっ、オジサン起きた？れろれろろゝ」

C-006 「ん？何してって……見て分らない？オ・チ・ン・ポ、舐めてるところ、ちゅっ」

C-007 「寒くなって目が覚めたらオジサン、ソファァで寝てるし。毛布掛けてあげようかーって思ったら、ちゅっ、ちゅっ」

C-008 「ズボンの下で、チンポがギンギンに勃起してたし」

C-009 「んっ、んっ、んゝ♡」

C-010 「これは、期待されちゃってるのかなーって♪」

C-011 「ウソウソ♪ワタシがゝ、我慢できなくなっ襲っちゃった、ちゅっ、ただだから、ちゅっ」

C-012 「それにしても、んっ、いいチンポ持ってるじゃん……結構デカイし……れろゝ」

C-013 「気にすんなって♪これは、今日の、お礼、だから、ちゅっ♡」

C-014 「オジサンは何も考えずに、気持ちよーくなるだけでいいからね」

C-015 「全部、ワタシがしてあげるから」

C-016 「……起きちゃったことだし、チンポ、啞えちゃうね♪」

C-017 「あーんっ！ んっ、じゅるっ、じゅっ、じゅぽ、じゅぽっ♡」

C-018 「ちゅぽっ……ははっ、すごいビクビクしてる。敏感なんだな♪んっ、じゅるる」

C-019 「んっ、じゅる、んっ、んっ、んっ」

C-020 「気持ちいい？チンポ、口の中で跳ねてる♪んゝ、じゅっ、じゅっ、じゅっ」

C-021 「こんな、じゅるっ、いいチンポ持ってたら、結構遊んだんじゃないのか？じゅるっ」

C-022 「じゅぽっ♡じゅぽっ♡じゅぽっ♡じゅぽっ♡じゅぽっ♡じゅぽっ♡じゅぽっ♡じゅぽっ♡」

C-023 「ぶはっ……えっ！？奥さん以外経験なかった？もったいねー」

C-024 「ワタシだったらこんなチンポ、絶対逃がさないけどな……しこしこしこしこ♪」

C-025 「ほゝら、ワタシのヨダレでドロドロになったチンポシコシコしたら、オジサンの先走りが出てきて
もっどドロドロになってく♪」

C-026 「シーコシコ、シーコシコ♪」

C-027 「ねえ、気持ちいい？ワタシの指でチンポぐじゅぐちゅするの、気持ちいい？」

C-028 「んふふ♪もーっと気持ちよくしてあげるからねー」

C-029 「あーんっ♪んっ、じゅるっ、じゅるるゝ、じゅっ、じゅっ、じゅっ♡」

C-030 「んん、じゅるっ、じゅるっ、じゅっ、じゅっ、じゅっ、じゅっ♡」

C-031 「吸いつきながらゝ、舌でこすってゝ、じゅるるっ」

C-032 「んっ、んっ、じゅるっ、んっ、んっ、んゝ♡」

C-033 「あっ、こらっ、腰、モゾモゾさせるなあゝんゝ、じゅるるるるる♪」

C-034 「んっ？出る？出ちゃう？チンポからザーメン出す？」

C-053 「んっ、来た来た♪ちゅっ、ちゅっ」

C-054 「んっ、全部、吸い出しちゃった♪」

C-055 「さっきよりも太くなってた気がするんだけど、気のせいかなっ♪」

◆Dパート

D-001 「ねっ。まだできるよね？こんなに、チンポがピンピンなんだから」

D-002 「あと2，3発はザーメン、出せるよね？んふふふ♪」

D-003 「ちょっと待っててね……よいしょっと」

D-004 「ん？パンツ、脱いだんだよ。チンポしゃぶっただけで、オマンコから汁が出てきちゃったし……」

D-005 「なにするんだ？って……言わせたいのかよ」

D-006 「もちろん、するんだよ、セ・ツ・ク・ス♪」

D-007 「わーい体を使った、な・ま・エ・ツ・チ♡」

D-008 「感謝してもいいんだぞ♪オジサンはどれだけお金払ってもぜーったい手に入らないんだからな〜」

D-009 「いつもだったらゴムは絶対着けるんだけど……今日はワタシがしたいから、ゴムはいらない♡」

D-010 「そうだよ♪生ハメの〜な・ま・な・か・だ・し、させてあげる♡」

D-011 「わっ、チンポ跳ねた♪わかりやすいなあ〜」

D-012 「ねえ。おじさん、キスしよう？」

D-013 「んっ……ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ」

D-014 「んっ、ちゅるっ……はむっ、ちゅっ、ちゅー♡」

D-015 「はあっ、はあっ、キス、気持ちいい……あむっ」

D-016 「れろっ、れろっ、ちゅるる、じゅるる、んっ♡んっ♡じゅるる♡」

D-017 「オジサン、ワタシのも触って♪もちろん、オ・マ・ン・コ♡」

D-018 「もうぐच्चゅぐちゅだけど、ん♡オジサンの指で、オマンコ弄って♡」

D-019 「あんっ♡指、来たあ♡んっ！んっ！んっ、はあ、はあ、はあ、あんっ♪」

D-020 「オマンコ汁でぬるぬるになった指でぐもつとぐちゃぐちゃに、あはっ♡もつとぐちゃぐちゃにして♡」

D-021 「あんっ♡あっ、あっ、あっ……オジサン、くう♡、指、気持ちいい♡」

D-022 「んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、結構、んっ、ウマイ……じゃん♪あんっ♡」

D-023 「はむっ、舌、もつと出して？じゅるっ、じゅじゅじゅじゅじゅー！」

D-024 「じゅぽっ、じゅるるる、じゅっ、じゅっ、じゅっ♡」

D-025 「んっ、んっ！じゅるるる、じゅっ、じゅっ、んふっ……じゅるるるる」

D-026 「あんっ♪すごい気持ちいい♡じゃあ、んっ、今度は、こっちもー♪」

D-027 「あむっ♡じゅるっ、じゅるる、じゅるっ」

D-028 「じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ♡」

D-029 「んくっ！指っ！中に入って、きたあ♡♡」

D-030 「じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ♡」

D-031 「んっ、んっ、んっ！じゅるっ、れろれろれろ、じゅるる」

D-032 「あっ、あんっ、指、はげしっ♪」

D-033 「じゅるっ、じゅるるっ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ」

D-034 「あんっ♡耳の穴を舌でほじったら、ああんっ♡オマンコの中の指、あんっ♡中で跳ねて気持ちいい」

D-035 「あはっ♡チンポも、一緒にいじめてあげる♡♡」

D-036 「ほーら、ぐちゅ、ぐちゅ♡うふふ♡ぐちゅぐちゅぐちゅ〜」

D-037 「じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ♡」

D-038 「チンポ、気持ちいい？耳をぐちゃぐちゃにされながらシコシコされるの気持ちいい？」

D-039 「シーコシコ♡シコシコ♡シコシコ♡ヌルヌルで、触ってるだけで気持ちいいかも♡」

D-039 「ンフ♡じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ♡」

D-040 「ああん♡、あっ♡あっ♡あっ♡指、いいよ、すごい、んっ♡オジサン上手すぎ♡」

D-041 「じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ♡」

D-042 「あはっ♡ヤバイ♡オマンコの奥から汁がどんどん出てくるのわかる、ヤバイ♪あんっ♡」

D-043 「ん〜♡じゅっ、じゅっ、じゅっ、じゅっ♡」

D-044 「あっ、きた♡気持ちいの来た、オマンコいくっ、いくっ、もう、いくっ」

D-045 「んっ、じゅるる、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ♡」

D-046 「ああ〜いくっ、いく、いくいくっ♡」

D-047 「イクっ！〜んっ、んっ！んはあ♡じゅぽっ……んっ♡」

D-048 「……オジサン、キス、キスう〜♡んっ、ちゅっ、じゅるっ、じゅぷぷ、じゅちゅ、じゅるる♡」

D-049 「あんっ♡はあ、はあ、はあ、ヤバっ……オジサンの指で、オマンコ、いった……んっ♡」

D-050 「……うわっ♪チンポ先走りでヤッバ♪ワタシのオマンコ弄りながらキスと耳舐めで興奮しちゃった？」

D-051 「んっ、すごい♡さつきよりもつとガチガチになって、んっ、先走りでびちゃびちゃだ……」

D-052 「はあ……はあ……はあ……ね、もういいよね？」

D-053 「このガッチガチのチンポ、ワタシのマンコに生ハメしていいよね？ねっ♡」

D-054 「んっ♡おっけー♡ちゅっ、じゅるっ、じゅるる、じゅっ、んっ」

D-055 「じゃあ、チンポ、入れちゃうね……」

◆Eパート

E-001 「んっ、ほら、見て。オマンコ。ドロドロで糸引いて……チンポの上に落ちてる……やばいね♡」

E-002 「腰、落とすよ……んっ」

E-003 「ほくら、ずぷずぷっって……んはあ、どんどん、入っていくよ」

E-004 「あっ♡ああんっ♡あっ♡来た、チンポ来た、デカっ……あああんっ♡」

E-005 「んっ、んふふふふ♪はあ、はあ……全部、入った……」

E-006 「奥までずるるーって……うふふふ、やばっ……一番奥、押し上げて……すっ♡」

E-007 「はあ、はあ、はあ、はあ♡」

E-008 「んっ、ちゅっ、ちゅっ、じゅるっ、れろれろっ、れろれろ♡」

E-009 「オジサンどう？オマンコの中、気持ちいい？」

E-010 「よかった♪あんっ、奥までズッポシはまって……んっ、これ、やばいね……」

E-011 「あんっ、動いてないのに……奥の奥から、汁が出てきて……オマンコ、もっとぐちゃぐちゃになってる……」

E-012 「分かる？奥から汁が、トロロっってオジサンのチンポに絡みついているの……」

E-013 「はあ、はあ、はあ、これ……超エロイね♡」

E-014 「ちゅっ♡じゅるる♡んっ、れろっ、れろっ、じゅるるる♡」

E-015 「ぷはっ、はあ、はあ、はあ、んふふふ♪」

E-016 「それじゃあ、動くね……」

E-017 「まずはゆっくり……あんっ♡んっ♡」

E-018 「あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡」

E-019 「うふふ♡んっ、んっ、んあっ、あっ、あっ、あっ♡」

E-020 「ヤバっ、これ、気持ちいい……こんな、あんっ、イイチンポ……くっ♡初めて……かも……んっ♪」

E-021 「あんっ、チンポ……マンコの中でビクビクたって……オジサン、やっぱ、あっ♡敏感、なんだな……ああんっ♪」

E-022 「腰を、あ・げ・てえ、はーい、ぐちゅー♡」

E-023 「くうっ！あっ、ははっ、軽くイクかと思った♡」

E-024 「腰落とした瞬間、チンポ膨らんだの、わかったぞ♡」

E-025 「ぐちゅー♡ぐちゅー♡ぐちゅー♡ぐちゅー♡ぐちゅー♡ぐちゅー♡」

E-026 「んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡んふふ♡」

E-027 「オジサン、舌、出してっ♪」

E-028 「あむっ♡じゅるっ、じゅっ、じゅっ、じゅっ、じゅるっ♡」

E-029 「んむっ♡じゅるっ♡んっ、んっ、んっ、んっ♪」

E-030 「ちゅっ、じゅるっ、じゅぶぶ、じゅちゅ、じゅる♡」

E-031 「んあっ！こらあ、胸、勝手に、んあっ、触っちゃ、ああん、あははっ♪めっちゃ揉むじゃん♪」

E-032 「ううん。いいよ♡おっぱい揉んで♡服の下に、手入れて。あんっ♡」

E-033 「がっつきすぎ♡んっ、ちゅっ♡じゅるるっ、じゅる、じゅる、んっ、れろ♡」

E-034 「んっ♡はあ♡はあ♡はあ♡どう？おっぱい揉むの気持ちいい？」

E-035 「結構おおいでしょ♪クラスの中じゃ一番、あんっ♡大きいん、だから、あっ♡」

E-036 「あっ、あっ、あんっ、きもち、いいよ♡んっ、んっ、んっ♡」

E-037 「ち、乳首来た、んっ、じゅるるる、乳首、オジサンの指が、じゅるっ、れろろ、コリコリって……
じゅぶ♡」

E-038 「あう……これ、頭がしびれてくる……♡」

E-039 「ぶっといチンポ、オマンコに入れながら……乳首コリコリされるの……しゅごい……これえ♡」

E-040 「じゅるるっ、じゅっ、じゅっ、じゅぶ、じゅぶ、じゅるるる♡」

E-041 「もっと、んはっ、激しく、するよ……覚悟、しろよ♡」

E-042 「あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ♡」

E-043 「気持ちいいんっ、んっ、んっ、んっ♡気持ちいいしょ♡」

E-044 「あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ♡」

E-045 「アツアツのチンポが、ドロドロの、マンコ、ズボズボして、本気汁、でちゃって、これ、ワタシも、
やばっ♡」

E-046 「あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ♡」

E-047 「おっ♡やばっ、勝手に、変な声、でるぅ♡」

E-048 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-049 「これしゅごい♡おっ♡こんなの、い、いままで、おっ♡、ながっだよ♡」

E-050 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-051 「オジサン、おっ♡ザーメン出るっ出そうっ？おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-052 「ま、まだっ！？！っただけ、おっ♡タフなんだよ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-053 「腰っ、っ、突き上げて！おっ♡オジサンの、チンポ、で、おっ♡」

E-054 「奥の、奥まで、おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡ゴンゴンしてえー」

E-055 「ビグッ♡キタ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-056 「チンポ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡子宮に、おっ♡おっ♡叩きつけられて♡」

E-057 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-058 「ぢもぢもっ！っ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-059 「はげしっ、おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-060 「あゝっ♡ダメ、イク、イッちゃう♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-061 「ええっ！？オジサンも、おっ♡でそうなの！？おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-062 「今ヤバイ、おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡今出されたら本当にヤバイ、おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-063 「飛んじやう！絶対、おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡、飛んじやうから♡」

E-064 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-065 「あっ……ダメダメダメ！イグッ、イグッ、イグ、イグ、イグ！」

E-066 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-067 「イグウ~~~~！！！！！！クヒッ！ヒィ、ヒッ……ヒッ♡」

E-068 「はえっ……オジサン、まだ出てないの！？うそっ、ちょ、ちょっと、まって。い、いま動かれたら……イギー♡」

E-069 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-070 「ためっ、おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-071 「あ〜♡あ〜♡あ〜♡あ〜♡」

E-072 「お♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡また来る！お♡お♡♡お♡♡」

E-073 「お♡お♡♡お♡♡お♡♡またアクメしちゃう！お♡お♡♡お♡♡オジサンピストンでガチイキしちゃうー！」

E-074 「お♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡」

E-075 「イグッ！イグ、イグ、イグ！イググウ〜！！！」

E-076 「お♡来た！ザーメン来た！ドクドク来た！ヒグッ♡お♡お♡♡」

E-077 「……お♡……お♡……お♡……お♡……お♡」

E-078 「はあ、はあ、はあ、はあ♡」

E-079 「ちゅっ、じゅるる、じゅぷっ、じゅぽぽ、じゅぽぽ♡」

E-080 「オジサン……容赦なさすぎ……お♡は、初めて、お♡ガチイキしたかも……お♡」

E-081 「じゅるる、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ん〜♡」

E-082 「すい……イッた♡お♡まだ余韻、残ってる……お♡」

E-083 「オジサンもよかったしょ？ん？んふふふ♪じゅるる、ちゅっ、ぢゅるぢゅる♡」

E-084 「んっ♡あんっ♡チンポ、抜くよ……お♡お♡♡」

E-085 「あはっ♡はあ、はあ、はあ、うわっ♡マンコからザーメン、ドロドロ出てきた……お♡」

E-086 「これも、気持ちいい……ちゅっ、ちゅ〜♡」

E-087 「はあ……はあ……はあ……」

E-088 「えっ！？わっ……ちよっと、なんで、覆いかぶさって……あ♡」

E-089 「マンコに、んっ♡チンポ、当たってる♡」

「生中だし一回だけじゃ、んっ♡足りなかったか？あんっ♡」

E-091 「こらっ♪こすりつけて、遊ぶなよ♡あんっ♡あっ♡いれるなら、んっ♡いれろよお♡」

E-092 「あつ、ああ、ああ、あつ♡チンポ、全然ガチガチじゃん、ヤバイね……」

「オジサンの中だしザーメンでぐちゃぐちゃだから、一氣にきてよ♪」

E-094 「そう、おもいつきり、い・れ・て♡」

E-095 「おぐうううううう♡」

E-096 「♡♡♡♡♡」

「あっ♡だめっ、だめだめだめ！でちゃう！これ、でちゃうう！」

E-098 「おっ♡おほっ♡んんんんんー♡」

E-099 「くはっ♡はーっ♡はーっ♡はーっ♡」

「で、でた……おもいつき……潮、でたあ」

「奥にごんって、脳みそまで電気来たあゝ♡」

E-102 「おっ♡んふふふ、ごめんね、下品な声で♡」

「こんな声出るセックス……本当に生れて初めてだから」

E-104 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

「オ、オジサン、興奮しすぎ〜！おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-106 「♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

E-107 「じっ♡いいよ、今までないぐらい気持ちいい！じっ♡じっ♡じっ♡じっ♡」

E-108 「ぐちゃぐちゃになったマンコ、チンポでもっとかき回してー！」

E-109 「もっと、おっ♡もっと、もっとおー！」

E-110 「じっ♡じっ♡じっ♡じっ♡じっ♡じっ♡じっ♡じっ♡」

E-111 「おっ、おおっ♡あーっ♡ヤバイ、ヤバイ、これ、また、くるうー！」

E-112 「えっ？オジサンも限界？いいよ、今度は一緒にイこう！マンコにザーメン吐き出して♡」

E-113 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-114 「出して、出して♡出せ♡出せ♡出せ♡出せ♡出せ♡」

E-115 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

E-116 「ああ、イグっ♡イグっ、イグイグイグイグっ♡」

E-117 「イグうゝ！……！」

E-118 「くはっ♡おっ♡あっ、また出る、出る、出ちゃう潮吹いちゃう！吹いちゃうー！」

E-119 「おぐうううううゝ♡」

E-120 「な、中だしされながら、潮吹き、超気持ちいい……おっ♡これ、ハマりそう……♡」

E-121 「はあ……はあ……はあ……ふうゝ」

E-122 「どうだ？満足したか？オジサン♡」

E-133 「あんっ♡」

E-134 「そうかそうか♪『最高だった』……か♪」

E-135 「えっ？『改めて言ってほしい』って……意地悪だなあ」

E-136 「ふふふっ、すごかった……最高だったよ……」

E-137 「抱きしめて♡そう、ぎゅーって♡」

E-138 「こらっ！匂いは嗅ぐなって！もう♡」

E-139 「……ふう……さすがに……クタクタ……」

E-140 「起きたら、風呂、借りるから……」

E-141 「このまま、寝ていい？……んっ、サンキュ……」

E-142 「ちゅっ♡お休み、オジサン♡」

◆Fパート

F-001 「一度、家に帰る。そう、ちょっと話し合ってくる」

F-002 「大丈夫。どうにもならないようだったら、また家出するし……」

F-003 「そしたら……さ。また家出することになったら……」

F-004 「ここに、戻ってきて……いいかな……なんて」

F-005 「……ホントに？いいの？あの、自分で言ってアレだけど、ほんとにいいの？」

F-006 「甘えちゃうぞ？きつと、めんどくさいぞ？」

F-007 「オジサン……ホント、なんていうか……人生損ばかりしてそうだな……」

F-008 「『昨日得した』って……ばーか♡真顔で言うやつがあるかつ」

F-009 「ふふっ♡わかった！その時は、オジサンを頼ることにする！」

F-010 「昨日のことも含めて……全部、ちゃんと、お返し、するから」

F-011 「ちゅっ♡ありがとな、本当に」

F-012 「じゃあ、朝ごはん、食べよう！昨日買ってきたやつ！温めてやるからさ！」

F-013 「食材があればワタシが料理してあげるんだけどな」

F-014 「『買っておく』って、それワタシが戻ってくること前提じゃん♡」

F-015 「あははははっ♪もう、調子いいなあ、オ・ジ・サ・ン♡」

F-016 「そいや散々エッチした後だけどさ……」

F-017 「名前、言ってなかったね。うん。ちゃんと言ったことと思って」

「み・お。美央だよ」

「うん。そう、名前で呼んで。苗字は……嫌だから教えない♪」

◆エピソード

EP-001 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

EP-002 「っらっ、料理してる最中は、おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡ダメだって、おっ♡おっ♡おっ♡言ったのに♡」

EP-003 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

EP-004 「あっ♡ダメダメダメ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡軽くイクッ♡」

EP-005 「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」

EP-006 「イグッ♡イグッ♡おっ♡おっ♡おっ♡イグッ!…」

EP-007 「おっ……おっ……」

EP-008 「あっ……ああ……軽く……イッた……♡」

EP-009 「いやっ、確かに、裸エプロンで居たワタシが、おっ♡悪いけどさ……」

EP-010 「誘ってるに、おっ♡、決まってるじゃん……おっ♡」

EP-011 「んっ♡あれからまた世話になって……おっ♡カラダ以外返せるものないし……おっ♡」

EP-012 「『居てくれるだけで嬉しい』って、ここまで面倒見てるならもっと、おっ♡求めてもいいんだぞ♡」

EP-013 「結局喧嘩別れして、戻ってきたワタシの事も、学校とかも、全部面倒見てくれてるし……」

EP-014 「おっ♡これだけされたら……おっ♡おっ♡一生、返せないじゃん、おっ♡おっ♡」

EP-015 「腰、細かく、おっ♡動かすなって、おっ♡おっ♡おっ♡」

EP-016 「だから……や。おっ♡」

EP-017 「ワタシが……さ。おっ♡奥さんに、なんて……どうかな……って」

EP-036 「あん♡腰つかむ力、すご♡」

EP-037 「……もう、しょうがないなあ……」

EP-038 「いいよ、もう一回、後ろからガンガン突いて♡」

EP-039 「オマンコぐっちゅぐちゅにして♡ギンギンのチンポで滅茶苦茶にして♡」

EP-040 「ね♡ア・ナ・タ♡」

EP-041 「ヨギ♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡」

EP-042 「お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡」

EP-043 「お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡お♡♡~~~~~♡」

終